

平成２５年行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		安心して働き続けられる職場環境調査研究事業			担当部局庁		雇用均等・児童家庭局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成６年度			担当課室		職業家庭両立課		職業家庭両立課長 中井 雅之	
会計区分		労働保険特別会計雇用勘定			政策・施策名		Ⅵ－１－１ 男女労働者の均等な機会と待遇の確保対策、仕事と家庭の両立支援、パートタイム労働者と正社員間の均等・均衡待遇等を推進すること			
根拠法令 （具体的な条項も記載）		雇用保険法第62条第1項第5号			関係する計画、通知等		「日本再生戦略」(平成24年7月31日閣議決定) 「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定) 「子ども・子育てビジョン」(平成22年1月29日閣議決定)			
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		仕事と家庭の両立を推進する観点から、解決すべき政策課題に機動的に対応するため、現状及び課題に関する実態把握等を民間団体への委託により行うもの。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）		育児休業制度の実態等仕事と家庭の両立に係る各種制度の実態把握、問題点の分析のための調査を民間団体に委託して行う。受託した民間団体は、調査にあたって有識者等から構成する検討会を設置し調査項目等を検討した上で、調査研究を実施し、調査研究報告書を作成する。								
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 （単位：百万円）				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		予算の状況	当初予算	15	14	14	14	14		
			補正予算							
			繰越し等							
			計	15	14	14	14	14		
		執行額		8	9	9				
		執行率（％）		53.3%	64.3%	64.3%				
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 （25年度）
		本事業は毎年異なるテーマを扱っていることから、各年度共通の成果目標の設定になじまない。また、本事業は調査研究によって得られた結果を施策に反映することを目的としているが、施策反映の方法は様々であるので、成果目標が設定できない。			成果実績					
					達成度	％				
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
		調査回答数			活動実績 (当初見込み)	件			企業 774 労働者 3,000	—
									設定なし	設定なし
単位当たりコスト		2,383(円／調査回答数)			算出根拠	単位当たりコスト＝X／Y X: 執行額 9百万円 Y: 調査回答数 3,774件(企業774社、労働者3,000人)				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	諸謝金		1.3	1.3						
	旅費		1.3	1.3						
	庁費		11	11						
	消費税		0.4	0.4						
計		14	14							

事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、仕事と家庭の両立を推進するために解決すべき政策的課題について調査を実施するものであり、国民のニーズを踏まえた、社会的に関心の高い研究テーマを設定して毎年実施しているため、国費を投じて実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	育児・介護休業法の普及状況及びその影響を全国的に調査するものであるため、国で実施するのが適当である。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	成果目標の達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業である。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を実施しており、妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		－	－	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	一般競争入札を行い契約額を決定し、事業目的が達成されるよう調査票発送対象を決定しているので、単位当たりコストは妥当なものである。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	仕事と家庭の両立に関する現状及び課題等に係る調査・分析に必要な経費のみで構成されており、必要最低限のものとなっている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		○	平成24年度の執行率が64%にとどまった理由は、落札率は95%であったが、委託業者が当初予定していたすべての業務を効率的に執行したため。	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	直接実施する場合と比較し、専門性の高い受託事業者が調査・研究事業等を実施しており、業務を効率的に執行し、上記のとおり執行率は64%である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		－	－	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	調査結果は法改正の際の参考資料などの論拠データとして役立てている。	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	成果目標や活動実績の数値目標の設定は、各年度共通したものを使っておらず、進捗状況が計りづらい状況である。しかし、本事業では仕事と家庭の両立実態や企業独自の両立支援の取組状況などの社会的関心の高いテーマを研究対象としており、法改正の際の参考などの論拠データとして調査結果を使用するなど、成果を有効に活用しているといえる。また、予算の執行面では、一般競争入札（総合評価落札方式）による入札を行うことで、調査回答数1件当たり2,383円という単位当たりコストのもと、限られた予算の中で効率よく事業を執行することができている。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現 状 通 り	本事業は、育児休業制度の実態等仕事と家庭の両立に係る各種制度の実態把握、問題点の分析のための調査を行う事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現 状 通 り	－				
備考					
平成24年度仕事と介護の両立に関する実態把握のための調査研究事業報告書 http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/h24_itakuchousa.html					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	0810	平成23年	0723	平成24年 0636

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
9百万円

〔 委託事業の進行管理、受託者への指導 〕



【委託・一般競争入札】

A.三菱UFJリサーチ & コンサルティング(株)
9百万円

〔 調査項目等を検討する検討会の設置
調査研究の実施
調査研究報告書の作成 〕

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A三菱UFJリサーチ & コンサルティング(株)			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研究員	5			
事業費	仕事と介護の両立に関する実態把握(調査の実施、集計等にかかる経費)	3			
消費税		1			
計		9	計		0
B			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	仕事と介護の両立に関する実態把握(調査項目等を検討する検討会の設置、調査研究の実施、調査研究報告書の作成)	9	9	94.9
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					